1．糖尿病性腎症対象者の概数把握　（フローチャート）

自治体名　：　小牧市

（以下丸数字は、「02_フィルタ詳細設定条件.xlsx」の丸数字と対応している。赤字で記載している内容は、KDBで抽出可能な範囲(制約)を記載している。）

●健診受診者からの把握（A・B・C）

KDBシステムで抽出可能な条件
健診実績がある被保険者が対象

R07年度 健診受診者
9,401 人

糖尿病なし
5,831 人
⑪

糖尿病有無不明
人

※1 糖尿病あり
3,570 人

※1 「糖尿病あり」の定義
・空腹時血糖126mg/dl以上またはHbA1c6.5 %以上または糖尿病治療中、過去に糖尿病薬治療歴あり

KDBシステムで抽出可能な条件
空腹時血糖126mg/dl以上またはHbA1c6.5 %以上または当年度に糖尿病（2型糖尿病）に該当するレセプト

腎症4期	腎症3期	腎症2期以下	腎症病期不明
eGFR30mL/分/1.73m²未満	尿蛋白+以上かつeGFR30mL/分/1.73m²以上	尿蛋白±以下かつeGFR30mL/分/1.73m²以上	尿蛋白やeGFR検査値なし
92 人	347 人	2,572 人	559 人

※2

腎症4期		腎症3期		腎症2期以下		腎症病期不明	
糖尿病治療あり	糖尿病治療なし	糖尿病治療あり	糖尿病治療なし	糖尿病治療あり	糖尿病治療なし	糖尿病治療あり	糖尿病治療なし
92 人	0 人	338 人	9 人	2,470 人	102 人	537 人	22 人
B ①	A ②	B ③	A ④	B ⑤	C ⑥	⑦	C ⑧

※2 「糖尿病治療あり」の定義

KDBシステムで抽出可能な条件
- 国保保険者の場合、問診で本人が糖尿病治療薬ありと回答または当年度に糖尿病（2型糖尿病）に該当するレセプトが発生している
- 後期保険者かつ令和元年度以前の場合、問診で本人が糖尿病治療薬ありと回答または当年度に糖尿病（2型糖尿病）に該当するレセプトが発生している
- 後期保険者かつ令和2年度以降の場合、レセプトに糖尿病治療薬の処方が発生しているまたは

●健診未受診、レセプトデータからの把握（D・E）

R07年度 健診未受診者のうち、レセプトに糖尿病病名あるいは糖尿病性腎症病名があるもの
6,223 人
D ⑨

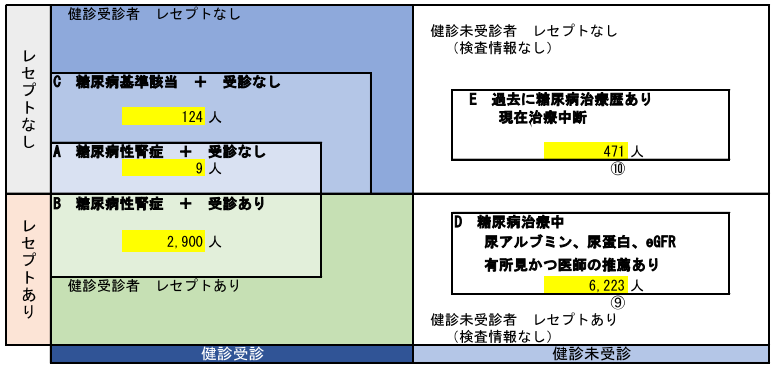
KDBシステムで抽出可能な条件
健診未受診者のうち、当年度に糖尿病（2型糖尿病）に該当するレセプトまたは糖尿病性腎症（1型・2型糖尿病腎症）が発生している

R07年度 健診未受診者のうち、過去のレセプトに糖尿病病名あるいは糖尿病性腎症病名がある治療中断者
471 人
E ⑩

KDBシステムで抽出可能な条件
健診未受診者のうち、糖尿病治療中断者（※）
※治療中断の判定条件は以下のとおり
前年度に糖尿病（2型糖尿病）と判定されたレセプトが存在する　かつ
当年度に糖尿病（2型糖尿病）と判定されたレセプトが存在しない
<<留意事項>>
対象者抽出年度にH29年度を選んだ場合、「生活習慣病治療中断（可能性あり）」の項目には表示がされない。（空白表示）。

出典：平成30年度「糖尿病性腎症重症化予防プログラムの効果検証と重症化予防のさらなる展開を目指した研究」

●対象者抽出の考え方



●今回の糖尿病性腎症事業対象者として、介入を予定している対象者

A～E：